

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 8 年度 藤井寺市健康づくり推進協議会 議事録
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 27 日（月）13 時 30 分から 14 時 30 分まで
開 催 場 所	市立保健センター 3 階 第一研修室
出 席 者	竹口委員（会長）、上田委員（副会長）、長崎委員、可児委員、 福田委員、中西委員、松岡委員、堀内委員、西本委員、楠本委員、 永田委員、松井委員、嘉指委員、根来委員、岩本委員
会 議 の 議 題	（１）役員改選について （２）令和 7 年度保健事業実績報告について （３）令和 8 年度保健事業計画（案）について （４）その他
会 議 の 要 旨	役員改選、令和 7 年度保健事業実績報告、及び令和 8 年度保健事業計画の説明
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍 聴 者 数	0 人
その他の必要事項	

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○事務局より説明

委員18名中15名の出席となり、協議会規則第6条第2項の規定により、本日の協議会が成立した旨の報告。

また、本協議会の開催にあたり「藤井寺市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき傍聴希望者を募集した結果、希望者がいなかったことを報告。

委員の任期は令和7年4月1日から2年間となっているが、一部の委員に交代があったことを報告。

○岡田市長あいさつ

○議案

1. 役員改選（会長の選任）について

会長の藤本委員が退任し事務局より、会長の選出方法を各委員に諮ったところ「事務局一任。」の声が上がり、全委員が承認。その後、医師会会長の竹口委員を事務局案として提出し委員の承認を得る。

2. 令和7年度保健事業実績報告について

令和7年度保健事業実績報告について事務局より説明。

→この件について、竹口会長より各委員へ諮ったところ、原案について承認された。

3. 令和8年度保健事業計画（案）について

令和8年度保健事業計画（案）について事務局より説明。

→この件について、竹口会長より各委員へ諮ったところ、以下の質疑応答があった。

①がん検診について

（委 員） 胃がん検診・子宮がん検診・乳がん検診は2年に1回となっている。近隣市には毎年実施しているところもある。がんの早期発見が事業の目的にあると思うが、2年に1回でこと足りるのか。

（委 員） 実施間隔については、予算の問題もあるのではないかと。毎年受診するのが理想ではあるが、実施間隔だけでなく、忙しくて受診できない人や、そもそも受診しない人は恩恵を受けることができないということが課題であり、受診率の向上に取り組むことが重要ではないかと。

（委 員） 予算については、他市が毎年実施できているので、藤井寺市も予算の配分を調整できるのではないかと。健康に関することは、削るべきではない。

（事務局） 胃がん・子宮がん・乳がん検診を2年に1回実施している理由として、国が科学的な研究結果に基づいた、指針を出している。本市では、国の指針に沿って実施している。

令和7年度も少しずつ受診率が上がってきており、今後も、2年に1回の受診をより多くの市民に受けてもらえるよう取り組んでいく。

② 子宮頸がん予防ワクチンについて

(委 員) 令和7年度の小6～高1相当の女子の接種率が43%である。もっと接種率を伸ばすために具体的な取り組みは何かしているか。

(事務局) 毎年、小6・高1に個別で通知を行っている。また、勧奨ポスターの掲示等を行っている。新たな取り組みとして、小学校・中学校で実施している性教育の出前講座の中でHPVワクチンの重要性を説明している。

(委 員) HPVワクチンは高1が最終学年となる。ワクチンの重要性を伝えて接種率を上げることが大切。松原市は高1を過ぎても接種できる独自の取り組みを行っている。藤井寺市もキャッチUP接種を検討してはどうか。

(事務局) 他市のように独自で接種できたらよいが、懸念点もある。例えば、キャッチUP接種は任意接種となるため、健康被害の補償のこともあり、他市では同意書を取るなどして施行されている。今後、様々な方向から調査、研究をしていけたらと考えている。

(事務局) その後、この件について竹口会長より、各委員へ諮ったところ、原案について承認された。

③その他

(委 員) がん検診の啓発が、広報に掲載しているだけで、受診率も低いように感じる。PR方法を検討し、積極的に行って欲しい。

(委 員) 带状疱疹ワクチンのことが分からないので、説明して欲しい。

(事務局) 带状疱疹は、過去に水ぼうそうに罹患したときに、体内に潜伏したウィルスが免疫低下時などに再活性化し神経に沿って水泡が出現する疾病である。50歳代から80歳代に罹患することが多く、合併症に皮膚症状が治った後にも痛みが残る带状疱疹後神経痛があり、令和7年度より定期接種の対象となった。本市では、およそ半額程度の助成を行っている。

(事務局より連絡)

① 今年度、藤井寺市新型インフルエンザ等対策行動計画が改訂予定。

② 本協議会の現在の委員の任期が、来年3月末で満了。委員の委嘱および改選を予定。

～ 閉会 ～